

1963

ぐち はつ げい はすてた

赤とんぼ かとんでいたのよ

ときいた

秋がそこまで来ている

いづんちにとが ありた フライ夏だ

さよなら 去来

理不感 と 思つた こと かつろれ

これ ひふつとして 虫の声 と 思つた

ドア を 開けると じいさんと していい

さよなら かわし 水たまり

あさがおの 葉 筑のすわりた

しげりに しげつてい

あさがおの 葉も ちらしばらぐで

さよなら たけ

香那 節月 一歩づつ 遊んでい

千いブルの 上の 食事をおいて 何もしてない

かえつたし ずつた ハルグ

そのあと 食事のすいブル 車イスの 移動

けつらい 仕事 した

二んち にと 思ひ ぬすく ている

秋は柔かい

いい秋はそこまで来ている

秋を正かえの心の準備を切り落とすところ

たうた

昨日かいた

ぐちいっぱいの服を着た

かゆく入ることに

去来してまた

止科のたのしみだつて来たくれ

ていよせいにくはいやない

理不屋の飾こういはいいお手平になる

2023
9/12